

令和6年度 学校教育自己診断票・教職員結果

回収率：133/133 (100%)

前年度：134/134 (100%)

A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない E：わからない（判断できない）

上段：今年度 下段：昨年度 (一) は今年度新設項目のため。

	診 斷 内 容	A + B	C + D	E
1	教育活動（指導内容等）について、教職員間で日常的に話し合いがもたれている。	88.7% (88.1%)	9.8% (11.2%)	1.5% (0.7%)
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	82.0% (86.5%)	12.8% (11.2%)	5.2% (2.3%)
3	児童・生徒の障がい特性を踏まえた、生徒(生活)指導を行っている。	91.7% (94.0%)	7.5% (6.0%)	0.8% (0.0%)
4	児童・生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、キャリア教育の視点を取り入れて日々の指導にあたり、適切な進路指導や情報提供を行っている。	84.2% (83.6%)	9.0% (11.9%)	6.8% (4.5%)
5	児童生徒の人権尊重を尊重し、日常の教育活動を行っている。	90.2% (93.3%)	8.3% (6.0%)	1.5% (0.7%)
6	いじめや人権に関わる事象に対して、迅速に対応するための体制が整っている。	87.2% (85.8%)	11.3% (9.7%)	1.5% (4.5%)
7	児童生徒または保護者が、相談内容に応じて学級担任以外の教職員にも気軽に相談できるよう学校としての体制が整っている（保健関係、進路関係、その他日々の困りごとなど）	79.7% (73.9%)	15.0% (17.1%)	5.3% (9.0%)
8	学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	86.5% (92.5%)	10.5% (5.2%)	3.0% (2.3%)
9	学校として、懇談・配付文書・学習会等を通じて、教育活動に必要な情報を児童生徒・保護者や地域（事業所等も含む）へ周知している。	87.2% (82.1%)	8.3% (11.9%)	4.5% (6.0%)
10	ICTに関する知識・技能が向上し、ICT機器やシステムを効果的に活用している。	81.2% (79.1%)	15.8% (18.7%)	3.0% (2.2%)
11	「個別の教育支援計画」に必要な支援について明記し、保護者とも十分に共有できている。	94.0% (93.3%)	4.5% (6.7%)	1.5% (0.0%)
12	学校は、医療、福祉、地域、その他の関係機関と連携して、児童・生徒の支援を進めている。	83.5% (87.3%)	12.0% (9.0%)	4.5% (3.7%)
13	校内研修は、計画的に実施され、教育実践に役立つような内容となっている。	82.7% (85.5%)	13.5% (11.9%)	3.8% (2.6%)
14	学校の施設や設備は、子供の安全に十分に配慮し、適切に整備している。	64.7% (66.4%)	32.3% (31.3%)	3.0% (2.3%)
15	緊急時（救急・災害・事故・犯罪など）の体制について十分に理解し、実際の危機に対応できるようにしている。	88.0% (90.3%)	9.0% (7.5%)	3.0% (2.2%)
16	学校運営において、教職員の意見が反映されている。	60.9% (64.9%)	24.8% (21.6%)	14.3% (13.5%)
17	教職員の労働環境の改善にむけて（業務分担の改善、産業医面談、ハラスメント窓口など）の整備が進んでいる。	51.2% (59.7%)	35.3% (34.3%)	13.5% (6.0%)